

指導案 (2)

民事紛争解決②

～模擬調停・臭いをめぐる争い～

●目標

- ・裁判所による紛争解決手続過程の模擬体験を通して、第三者の立場で当事者の言い分を公平に理解し、争点を整理して、法に基づいて紛争を解決する力を養うとともに、司法の意義・役割について実感させる。

●教科等

- ・公民科「公共」

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて、現実社会の諸課題に関わる具体的な主題を設定し、幸福、正義、公正などに着目して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解すること。

※本指導案については、現行学習指導要領の公民科「現代社会」及び「政治・経済」において、その目標及び内容に即して工夫することにより、実施することも考えられる。



●指導計画【想定授業時間：50分】

| 進行 (所要) | 内容 | 指導上の留意点 |
|--------------|---|--|
| 導入 (5分) | <ul style="list-style-type: none"> ●裁判所による民事紛争解決方法として、「裁判」以外にも、「調停」があることについて説明。 | 以下を参照して説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ●紛争解決・司法の概要「2(2)②ア 民事裁判」及び「民事裁判手続の流れ」 →65ページ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●課題把握 ・生徒を「カフェ店役」,「焼肉店役」,「調停委員役」の三者に分ける。 ・「資料」及び「ワークシート」(配役に応じたもの)を配布し,課題を把握させる。 | |
| 展開① (15分) | 【カフェ店役, 焼肉店役】 問1 売上げの減少は, 焼肉店の煙や臭気の原因がある(焼肉店の煙や臭気とは関係がない)というために, どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして主張を考えよう。 問2 焼肉店が対策を講じる義務がある(義務はない)と主張するために, どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして考えよう。 問3 「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」, 「営業時間の調整」の2案のうち, どの案を特に求めますか(重視しますか)。その理由も説明しよう。 問4 焼肉店(カフェ店)側の反応を想定し, 「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」, 「営業時間の調整」について, どこまでなら妥協できますか。①～④から一つ選び, 理由も説明しよう。 | |
| | 【調停委員役】 問1 焼肉店側で臭気対策工事(工事費用1,000万円)をすべきかどうか, 実施すべきとした場合, カフェ店側は費用を分担すべきか考えよう。また, 負担割合の理由も示そう。 問2 営業時間帯の調整を行うべきかどうか, 行うべきとした場合, どのように調整するべきか考えよう。また, その理由も示そう。 問3 他に円満に解決する案はないか考えてみよう。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●個人ワーク ・ワークシートに自分の考えを記載させる。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●グループワーク ・配役ごとにグループ(4名程度)を作り, グループとしての結論をまとめさせる。 | 展開②を見据えて検討させる。 |
| 展開② (20分) | <ul style="list-style-type: none"> ●模擬調停 ・三者が含まれるグループ(各配役1名以上)を作り, 展開①でグループとして出した結論を踏まえ, 模擬調停を行う。 | 調停に当たっては, 調停委員役は, ワークシートの【紛争解決のための技能】を当事者に説明し, 共通理解を図る。 |

| | | |
|----------------------|--|---|
| | | <p>[紛争解決のための技能：当事者]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 言い分を分かりやすく伝える。 ● 相手の主張ではなく、理由に注目する。 ● 相手の事情・立場も考慮した解決策を提案し、両者が最大限の利益を得られる解決策を目指す。 <p>※留意点 焼肉店役の生徒が安易に営業時間の短縮や工事費用の支払いに応じるような場合には、「営業時間の短縮や工事費用の支払いは焼肉店の売上げ(利益)や経営に直接影響し、これらに応じることで、経営者や従業員の生活が立ち行かなくなる可能性もある」などと説明し、安易に妥協しないよう促すことが考えられる。</p> <p>[紛争解決のための技能：調停委員]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 双方の主張をよく聞く(自分の考えを押し付けない)。 ● 「工事費用を折半する」などの単純な痛み分けではなく、双方の事情・立場を十分に考慮した上で、双方にとって最大限の利益が得られるような解決策を考える。 <p>※留意点 調停委員からの調停案の提示は、1回にとどまらず、合意が整うまで何回も行う。</p> |
| <p>まとめ (10分)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 発表、講評 ● 生徒に検討結果を発表させる。 ● 教員による講評を行う。 | <p>上記留意点を踏まえた主張等ができたかという観点から講評を行う。</p> <p>※生徒に「何のために、裁判所による紛争解決手続があると思うか」などと問い掛け、回答させた後に、解説を行ってもよい。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 司法の意義・役割について説明する。 | <p>紛争解決・司法の概要(⇒62ページ)を参考に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当事者同士では解決困難な紛争を解決するため、裁判所による紛争解決方法(民事裁判、調停等)が用意されていること ● 裁判所は、公平な第三者の立場から、当事者の言い分を公平に理解し、争点を整理して、法に基づいて紛争解決を行うこと ● 司法の意義・役割は、正しく法を適用して具体的な紛争を解決する、すなわち、侵害された権利を救済したり、ルール違反に対処したりすることによって、社会秩序を維持し、人々の権利や自由を守ることにあること <p>などを説明する。</p> |



資料

【事例】

駅から近い商店街にあるカフェは、おしゃれなカフェとして雑誌にも掲載されたことのある有名な店で、常時満席の人気店だった。しかし、隣に有名な焼肉チェーン店が入ってから、店の売上が減少し始めた。

カフェ店の店長は、焼肉店の臭気が原因だと思い、このまま営業利益の減少が続くと店の経営が危うくなることから、この状況を改善させるための方策について話し合いたいと考えたが、焼肉店の店長に取り合ってもらえなかったため、調停を申し立てた。

【当事者の主張】

| | カフェ店 | 焼肉店 |
|-----------|---|--|
| 出店経緯 | ・10年間勤めていた会社を辞め、貯金を元手に開業 | ・立地の良い商店街入口に新規出店 ・賃料の安い商店街奥も候補だったが、住宅街隣接のため断念（行政側からの指導あり） |
| 営業スタイル | ・営業時間：8時～20時 ・店内禁煙 | ・営業時間：11時～23時 |
| 客入りの多い時間帯 | ・モーニング ・ランチタイム（10:30～15:00） ・金・土曜日の夕方 | ・夜（特に、金・土曜日） ・土日のランチタイム |
| 年間売上 | （焼肉店開店の） ・前年：4,000万円 ・翌年：2,800万円（3割減） | ・5,000～6,000万円 |
| 設備や臭気の状態 | ・焼肉店の排気ダクトから出る煙と臭気がカフェ店内に入ってくる ・カフェ店の入口（自動ドア）は、人の出入りが激しいとほぼ開放状態となるため、臭気侵入の防止が困難 ・客から臭いに対する苦情が増え、客入りが減少していった ・店の境界線で臭気を測定した結果、市の基準をわずかに上回っていた | ・焼肉店の排気ダクトは、建物側面にカフェ店側向きに設置されているが、ビルの構造上やむを得ない ・煙や臭気の一般的対策は実施済み ・臭気に関する市の基準に拘束力なし ・商店街には臭気を発する飲食店（焼鳥店、ラーメン店）が多数ある |
| 調停に至る経緯等 | ・売上減少の原因が、焼肉店から流れ込んでくる臭気であることは明白 ・隣の店同士うまくやっていきたいと考え、焼肉店の店長との話し合いを提案したが、取り合われず ・このままでは、近い将来、経営が危うくなるので、調停を申し立てた | ・商店街には新たに別のカフェが開店したので、競争の結果、隣のカフェ店の売上が減少した可能性もある ・営業開始後すぐに、カフェ店から煙や臭気への苦情があったが、取るに足らないものとして対応せず ・調停には、誠実に対応する |
| 相手方への希望 | ・営業時間が重複しないよう、焼肉店の営業時間を制限 ・焼肉店の抜本的工事でも可だが、工事費用1,000万円は当然焼肉店が負担すべき | ・カフェ店側の提案は一方的なもの ・営業時間を制限すると売上半減 ・工事は可能だが、工事費用1,000万円を当店だけが負うのは不公平 |



ワークシート カフェ店役員



年 組 番 氏名 _____

【主張の検討】

問 1 売上げの減少は、焼肉店の煙や臭気の原因があるというために、どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして主張を考えよう。

問 2 焼肉店が対策を講じる義務があると主張するために、どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして考えよう。

【調停案の検討】

問 3 「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」、「営業時間の調整」の2案のうち、どの案を特に求めますか。その理由も説明しよう。

| | |
|---|-------------|
| 求めるのは <input type="checkbox"/> 臭いを抑える工事の実施 <input type="checkbox"/> 営業時間の調整 | 【理由】 |
|---|-------------|

問 4 焼肉店側の反応を想定し、「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」、「営業時間の調整」について、どこまでなら妥協できますか。①～④から一つ選び、理由も説明しよう。

- ① 工事も時間調整も妥協できない
- ② 工事は妥協できるが、時間調整は妥協できない
- ③ 工事は妥協できないが、時間調整は妥協できる
- ④ 工事も時間調整も妥協できる

| | |
|-------------|-------------|
| 【番号】 | 【理由】 |
|-------------|-------------|



ワークシート

焼肉店役員



年 組 番 氏名

【主張の検討】

問 1 売上げの減少は、焼肉店の煙や臭気とは関係がないというために、どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして主張を考えよう。

問 2 焼肉店が対策を講じる義務はないと主張するために、どのような事実を主張しますか。【資料】を参考にして考えよう。

【調停案の検討】

問 3 「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」、「営業時間の調整」の2案のうち、どの案を重視しますか。その理由も説明しよう。

| | |
|--|-------------|
| 重視するのは <input type="checkbox"/> 臭いを抑える工事の実施 <input type="checkbox"/> 営業時間の調整 | 【理由】 |
|--|-------------|

問 4 カフェ店側の反応を想定し、「焼肉店の臭いを抑える工事の実施」、「営業時間の調整」について、どこまでなら妥協できますか。①～④から一つ選び、理由も説明しよう。

- ①工事も時間調整も妥協できない
- ②工事は妥協できるが、時間調整は妥協できない
- ③工事は妥協できないが、時間調整は妥協できる
- ④工事も時間調整も妥協できる

| | |
|-------------|-------------|
| 【番号】 | 【理由】 |
|-------------|-------------|



ワークシート 調停委員役用



年 組 番 氏名 _____

問 1 焼肉店側で臭気対策工事（工事費用1,000万円）をすべきかどうか、実施すべきとした場合、カフェ店側は費用を分担すべきか考えよう。また、負担割合の理由も示そう。

| | |
|---|--------------------|
| <p>【臭気対策工事】 焼肉店側で臭気対策工事を <input type="checkbox"/>すべき <input type="checkbox"/>すべきではない</p> <p>【費用の負担割合】 焼肉店：カフェ店 <input type="checkbox"/>10：0 <input type="checkbox"/>7：3 <input type="checkbox"/>5：5 <input type="checkbox"/>3：7 <input type="checkbox"/>0：10</p> | <p>【理由】</p> |
|---|--------------------|

問 2 営業時間帯の調整を行うべきかどうか、行うべきとした場合、どのように調整するべきか考えよう。また、その理由も示そう。

| | |
|---|--------------------|
| <p>【営業時間の調整】 <input type="checkbox"/>行うべき <input type="checkbox"/>行うべきではない</p> <p>【調整後の営業時間】 カフェ店 _____ 時～ _____ 時 焼肉店 _____ 時～ _____ 時</p> | <p>【理由】</p> |
|---|--------------------|

問 3 他に円満に解決する案はないか考えてみよう。

【紛争解決のための技能】

調停委員は、以下の技能をカフェ店側、焼肉店側に伝えて、紛争解決を目指すこと。

[紛争解決のための技能：当事者]

- 言い分を分かりやすく伝える。
- 相手の主張ではなく、理由に注目する。
- 相手の事情・立場も考慮した解決策を提案し、両者が最大限の利益を得られる解決策を目指す。

[紛争解決のための技能：調停委員]

- 双方の主張をよく聞く（自分の考えを押し付けない）。
- 「工事費用を折半する」などの単純な痛み分けではなく、双方の事情・立場を十分に考慮した上で、双方にとって最大限の利益が得られるような解決策を考える。